

様式2 令和4年度新座市学校評価システム 自己評価書【本評価】

新座市立 新座小 学校

項目	No.	質問項目	回答内訳	ポイント (1~)	評価
独自	1	学校は、タブレット等ICTを活用しながら、児童自らが考えを表現し、学びを深める授業を展開しようとしている。(ICTのナショナルスタンダードの確立)	14 11	3.56	A
	2	学校は、一人一人がかけがえない存在であることを理解させ、お互いを認め合い、よさを生かした授業や学級経営を行っている。(よさを認め合い 可能性を拓く)	7 18	3.28	B
	3	学校は、教職員、保護者、地域、行政と連携しながら、児童の健やかな成長や円滑な学校運営のために、チームによる対応をしている。(チーム新座)	11 12 1	3.42	A
組織運営	4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させ、組織的な運営・責任体制を整備するとともに、働き方改革に取り組んでいる。	3 18 4	2.96	B
	5	学校は学校経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて改善計画を考え学校経営を行っている。	9 16	3.36	B
	6	学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	10 13 2	3.32	B
学力向上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	3 22	3.12	B
	8	学校は、各教科の指導において「見方・考え方」を軸とした授業を展開し、資質・能力の3つの柱の育成に努めている。	4 20 1	3.12	B
	9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	8 17	3.32	B
	10	学校は、カリキュラムマネジメントを推進し、society5.0を自在に生きる力を身につけた自動生徒の育成に努めている。	23 2	2.92	B
豊かな心の育成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いを実践したりできるよう指導している。	13 12	3.52	A
	12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	12 13	3.48	A
	13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	11 13	3.46	A
健康・体力	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	9 16	3.36	B
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	16 8	3.67	A
保護者・地域との連携協力	16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	14 11	3.56	A
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	18 7	3.72	A
	18	学校は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化推進により、社会に開かれた教育課程の編成・実施を行っている。	9 16	3.36	B